学校だより

蓮沼中学校

令和4年度 第12号 令和5年3月24日発行 大田区立蓮沼中学校 校 長 大 山 聡

保護者会より

先日はお忙しい中、保護者会へのご参加ありがとうございました。保護者会に参加されなかった方もおりましたので、私がお話した内容について学校だよりにてお伝えをします。

【保護者会で話した内容】

本日はお忙しい中、本校今年度最後の保護者会にお集まりいただきありがとうございます。本日は、今年 度の振り返りと来年度に向けていくつかお話をいたします。

まず、今年度ですが、昨年度と比べるとコロナに振り回されることは少なくなってきたのかなという感じがします。ただ、みなさんにメールでお伝えしているとおり、まだ流行期には本校でも生徒、教職員に感染者が出たり、濃厚接触者として、また家族の発熱により欠席を余儀なくされた人たちもいたりしました。しかしながら、ウィズコロナも定着してきており、そのようにして欠席者が出ても学校生活や行事などは粛々と進めることができました。来年度はマスクの取り扱いを含めてコロナが5類になれば、かなりコロナ前の学校生活が送れるようになるのではないかと思っています。学校としてはすべてをコロナ前に戻すという考え方ではなく、取捨選択をしながら新しい形を模索していけたらと思っています。

さて、来年度は今年度みなさんにお示しした学校経営計画の2年目になりますので、引き続き「生徒のための学校、学ぶことが楽しい学校」を目指し、生徒が通いたくなる学校になるように学校として一丸となり取り組んでいきたいと考えています。特に、いじめの未然防止・不登校(傾向)生徒へのさらなる対応のために、協働学習を中心とした授業の取り組みを軸とした研究を進めていきます。自分の意見をもち、それを伝えること、また、相手の意見を聞いてそれを自分の中に取り入れていくこと、そしてもう一度自分の考えを整理してまとめていくことなどこれからの時代を生き抜いていくために必要な資質・能力を身に付けることができるよう指導していきます。

学年担任制については来年度も引き続き行っていきますが、今年度いただいた保護者のみなさまからのご 意見や教員からの意見をもとに、今年度見られた課題を改善していけるように取り組んでいきます。具体的 には、ローテーションの間隔は学年でよく検討し、柔軟に(年度初めは少し長めに設定し、徐々に短くする など)設定し、年度当初の不安が生徒にないように対応していきます。どうしても学年担任制と聞くと今ま でに経験していないことですし、近くの学校では取り入れられてないやり方なので不安に感じてしまうかも しれませんが、私としては学年担任制のメリットと学級担任制のメリットが生かされるように進めていきた いと考えています。

今後も保護者のみなさまの意見にも耳を傾け、子どもたちのために様々なことにトライしていきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

今年度から人事異動の発表については、教職員が年度内に生徒や保護者のみなさまにあいさつができるように、年度末に行われることになりました。ですから、すでに新聞やネット等でご存じの方もいらっしゃると思いますが、私、大山が4月1日付で異動することになりました。2年間という短い期間で蓮沼中を去るのは大変に寂しい思いで一杯です。新年度から異動してくる張替校長は1年前まで本校で副校長でしたので、蓮沼中の様子については私以上に知っていると思います。今年度の取り組みをしっかりと引き継いでいきますので、どうぞよろしくお願いします。2年間ありがとうございました。蓮沼中のさらなる発展を心からお祈りしています。